

# 世界スカッシュ連盟 (WSF) アクレディテーション&コート公認登録についてご案内

\* アクレディテーション=認可、認定の意

- 1 **WSF アクレディテーションプロダクト** — コートの構造と材料のアクレディテーションの概要
- 2 **WSF 公認企業** — 企業側の規定
- 3 **WSF 公認コート申請** — 登録のプロセス

## 1 WSF アクレディテーションプロダクト

スカッシュコートの材料を製造している企業は、**WSF** の検査を通して、規格が通れば自社製品を「**WSF 公認製品**」として謳うことができます。製品の販売促進や信頼性を高める為に **WSF** のロゴを付ける事が出来ます。

なぜ公認登録が必要か、

### 製造業者

世界中に認識されたスカッシュ統括している独立機関が定めたスタンダードと品質が保証されている事を顧客に示す事ができる。**WSF** ロゴマークが付いている商品は製作技術や各部品が基準をしている事を保証でき、非公認業者に対して差別化を図る事が容易にできる。

非公認のコートは、規格に合致していたとしても、そのクオリティをどうやって担保できるでしょう??

### 建設業者

提供され、建設に用いるすべての製品が規格やスタンダードに準じている。

### スカッシュ競技の為に。

**WSF** は、このアクレディテーション制度によってこれからのコートと、その材質の品質の変化を管理する事でき、ひいては競技としてのニーズを満たすことが出来る。

非営利団体として健全に競技を守り発展させることは唯一の任務であり、この制度によって、安全やクオリティが保証されていない製品を判別できる。

## 2 WSF 公認企業

**WSF** 公認の材料を使い、自社のコート建築の経験と専門知識を証明することができれば、どの会社も「**WSF 公認企業**」として登録申請が可能です。

「WSF 公認企業」は、以下の条項を遵守するものとする。

- a) 建材と施工に 5 年保証を付ける事。
- b) 使用していると認定された材料の材質や特徴に変更があった場合は WSF に報告する事、また必要に応じて再検査にかかる費用を支払う事。
- c) 継続して認定された材料をつかってコートの建設が可能である事。
- d) 過去に建設したコートが認定材料を使用している事も加えて報告をする事
- e) コートが全て認定材料で建設されている場合、規格に適合しているとし、「WSF 公認企業」は、登録料を支払う事によってそのコートを公認コートとして登録できる。
- f) 登録が必要なコートには認定された製品のみを使用することは、「WSF 公認企業」の義務である。

### 3 WSF 公認コート申請・登録

WSF は 4 面の壁、床、ティンそして照明などの完全なコートの必須部分が全て各々、或いは統合して認定されている場合、「WSF 公認コート」として承認できる。

「WSF 公認企業」によって建設されたコートは、その企業、またはコートのオーナーによって、建設の前後、建設中を問わずいつでも登録できる。その場合公認料の支払いが必要となる。

WSF が認定した材料を使用して、非公認施工会社が建設したコートに於いては、検査を受けることによって登録が可能である。登録は任意とする。

WSF に公認登録が行われているコートのみ、WSF の世界コートリストに記載され、世界選手権、リージョナル、世界ジュニアサーキット、PSA などメジャーな公認大会に使われることができる。(この要項は 2013 年以前に建てられたコートに関しては適応させない。その場合は従来の WSF の仕様を適応させる。)